

各位

主催：和泉商工会議所

共催：テクノステージ和泉まちづくり協議会

# 「いずみの散歩道Ⅱ」

中小企業総合力アップ支援事業

テクノステージ和泉ビジネス連携サロン

最先端の科学の話に興味はありませんか？「いずみの散歩道」は事業者と有識者を繋げる、ビジネスチャンスのきっかけとなる場です。

大阪大学基礎工学部OBを中心とした有識者による講演です。図などを多用して内容に引き込まれやすく、文系の方にもわかりやすいように説明するので、専門的な分野の講演は難しくて分からないと感じている方もぜひご参加下さい。

質疑・応答の時間や講師も出席する交流会があるので、研究者とのつながりを作れます。新しい事業への取り組みの第一歩を踏み出しませんか？

## 記

日時	平成27年8月19日(水) 15時00分～18時30分(受付14時30分～)
場所	和泉市産業振興プラザ 和泉商工会議所 3階 交流スペース。
定員	30名(先着順)
申込み	8月14日(金)までに裏面の申込書でお知らせ下さい。
参加費	1,500円(交流会経費)
内容	1. 「ナノの視点での自然の仕組み」

### (有)フロンティアマテリアル代表取締役 中村 恭之 氏

ナノという極小の単位での観察技術 加工技術が最近発達し、顕微鏡で見るミクロンの単位とは違う世界が展開してきました。原子も見る(直接ではないが)事が出来、直接原子を積み重ねたり移動させることもできるようになりました。大阪大学では(一社)生産技術振興協会で、企業との連携事業としてアライアンス委員会でナノ技術応用分科会を開催しています。いろいろな情報から自然を対象にしたナノの世界をご紹介します。

講師略歴：大阪大学大学院基礎工学研究科修士課程修了(東京理科大学物理科卒業)

住友特殊金属(株)技術開発部主席研究員 開発企画部長等歴任

### 2. 「ナノテクツール・量子ビーム」

#### (一社)大阪ニュークリアサイエンス協会 専務理事 大嶋 隆一郎 氏

肉眼では分からない微小な物を見る手段は19世紀までは光学顕微鏡でした。1895年のX線の発見に続く様々な放射線の発見により、20世紀に入ってから、極微小の世界の観察技術は急速に進歩しました。ニュートン力学に代わって「量子力学」という新理論の発展によって微視的現象が説明できるようになり、新規のアイデアがナノサイエンス・テクノロジーにつながりました。ナノの世界の観察だけでなく、もの創りの場でも活躍するのが量子ビームです。量子ビームの性質と応用を平易に紹介します。

講師略歴：大阪大学大学院工学研究科修士課程修了、

大阪府立大学先端科学研究所基礎科学部門放射線物理学研究分野教授、

現 (一般社団法人)大阪ニュークリアサイエンス協会専務理事

専門：放射線材料物性(電子顕微鏡、陽電子消滅、メスbauer分光)、金属材料の相変態

